

島根大学地域人材育成コース魅力紹介

[しまジン]

# SHIMAJIN

#04

## 地域課題 × 島大生

各市からのリアルな課題解決に臨んだ地域人材育成コース生のレポート紹介



# 松江エリア

## MATSUE AREA

### フィールドワークスケジュール

| 時間          | 会場           |
|-------------|--------------|
| ～ 9:00      | 島根大学         |
| 9:00～ 9:30  | 移動(バス)       |
| 9:30～11:00  | 松江バイオマス発電(株) |
| 11:00～11:30 | 移動(バス)       |
| 11:30～12:30 | 昼食会場 おちらと村   |
| 12:30～13:00 | 移動(バス)       |
| 13:00～14:00 | 堀川遊覧船        |
| 14:00～14:20 | 移動(徒歩)       |
| 14:20～15:30 | 松江城          |
| 15:30～15:55 | 移動(バス)       |
| 15:55～16:40 | 八重垣神社        |
| 16:40～17:15 | 移動(バス)       |
| 17:15～      | 島根大学         |

### 松江バイオマス発電(株)

生物から得られた有機物(バイオマス燃料)を活用した再生可能エネルギーの1つである木質バイオマス発電事業を島根県松江市で展開している。総面積の約8割を森林が占める島根県で製品の材料として使われてこなかった未利用材や間伐材を加工した「木質チップ」を燃料として使用することで、森林資源の有効活用につなげている。木の伐採・運搬・加工等の林業にかかわる雇用創出など、松江バイオマス発電株式会社は「発電事業」を通して地域貢献を続けている。



松江市より環境に関わる

### 課題提起

松江A・B班

#### 松江A班 解決策提案

私たちの提案は、松江バイオマス発電株式会社のFIT制度が終了した後も協定等を結んで松江市に電力供給を行うと同時に木材供給を補助する施策でバイオマス発電の発展に寄与してはどうか、というものである。同社のFIT制度は10年後に終了する予定であり、市にどのように貢献を続けていくかが課題となる。脱炭素社会に向けてバイオマス発電は貴重な再生可能エネルギー源である。そこで、植林や伐採などの森林活動を教育機関と連携して実施し市民の意識改革を促しつつ、木材の安定供給を図ることが重要だと考える。地域のエネルギー事業者との連携を一層強化し、将来を見据えたエネルギー政策の構築について、ぜひご検討いただければと思う。

MISSION:

再生可能エネルギーをさらに普及するために、松江市役所として何ができるか示してください。

#### 松江B班 解決策提案

松江バイオマス発電株式会社は、資源は十分にあるが加工・運搬における人材不足により、木質チップの供給が足りていない。

そこで、木の伐採・加工・運搬など、発電に関わるすべての事業者への補助金交付を提案する。これにより、人手不足の緩和と木質チップの安定供給の実現が期待できる。再生可能エネルギー普及のために、木材の伐採から発電までを学べる現場見学ツアーを提案する。中高生を対象にした社会科見学、大学生や市民を対象とした希望制ツアーとして実施する。見学を通し、若い世代が興味を持ち将来の担い手として育ていくこと、市民や関連企業に現状を知ってもらい地域全体でエネルギーを支える意識を高める効果が期待できる。

松江市より環境に関わる

### 課題提起

松江C・D班

#### 松江C班 解決策提案

課題に関しての提案として私たちは環境×教育を挙げます。1つ目に学校での環境教育の導入、2つ目に松江市様からできることの実例です。教育の導入は、松江バイオマス発電所様を教材とした地域探求授業です。社会科等の学習の時間を活用し、フィールドワークを実施。地元の木材資源の循環や、再生可能エネルギーの仕組みを学習します。また松江市様でも小中高の段階によって独自の実践型教材を作成してもらいます。市民の方々の意識改善に繋がり、松江バイオマス発電様の活動認知にも繋がります。世代の意識向上、学校・地域での環境活動が地域との連携を生みます。日常の変化から地域社会や企業全体の環境負荷が減る可能性へと繋がられます。

MISSION:

松江バイオマス発電の取組は、地域人材の雇用創出にも貢献している。この「環境×雇用」のような環境政策と連携することで相乗効果が生まれる組み合わせについて、いいアイデアを示してください。

#### 松江D班 解決策提案

松江城では靴袋の持参が推奨されていますが、観光客には十分に浸透していないのが現状です。そこで私たち松江D班は4つの仕組みを提案します。1つ目は、お土産にも使える松江城のロゴ入り靴袋の販売です。2つ目は、靴袋持参者限定の特典です。オリジナル絵ハガキなどプレゼントを用意することで子ども連れのファミリー層の靴袋持参も期待できます。3つ目は現在松江城やその周辺で行われているスタンプラリーに「靴袋スタンプ」を追加します。4つ目は、松江城Webサイトでの啓発強化です。サイトの目立つところに靴袋持参のお願いを表示し、更に多言語に対応させることでより多くの人の目に留まるようにします。



## SPOT

### 松江城

【広さ・高さ】国宝松江城は全国に現存する12天守のひとつで、総床面積では2番目、高さでは3番目の規模を誇る。

【鯨】木造銅板貼りで向かって左が雄で鱗が荒く右が雌。高さ210cm、現存12天守では最大のもの。

【鬼瓦】各層の屋根の隅々にある鬼瓦は、後世のものとは違って角がほとんどなく、一枚ごとに異なった珍奇な表情をもっている。他城では家紋などが用いられるため珍しい。



### 堀川遊覧船

- ・国宝松江城のお堀を巡る小舟を堀川遊覧船と言う。江戸時代の風情が残る武家屋敷などの風景を味わう。
- ・街並みと四季折々の自然の景色を同時に楽しむことができる。
- ・城下町の雰囲気を楽しみながら、船頭さんから当時の様子や“松江夜曲”の生歌唱が聴ける！
- ・寒い時期は「こたつ」があり、氷を割りながら進むので楽しみ方が倍増！
- ・屋根が上下に動くので景色の見方もスリルも満点！
- ・水辺に浮かぶ生き物だけではなく「不思議なモノ」星型刻印もある！



### 八重垣神社

松江市にある古社で、縁結びの神様として広く知られている。主祭神は素盞鳴尊（スサノオノミコト）と櫛稲田姫命で、日本神話の八岐大蛇退治にまつわる伝承に由来。素盞鳴尊が稲田姫を守るために「八重垣」を築いたことから、この名となる。境内には「鏡の池」があり、紙に硬貨を乗せて浮かべ、沈むまでの時間や距離で良縁を占う「縁占い」が人気！



#### A班

班員全員が松江市出身ではない中、松江市の魅力やカーボンニュートラルの達成に向けた取り組みについて積極的に松江市役所の方や松江バイオマス発電株式会社の方に質問をし、理解を深めることができた。当日はあいにくの雨で松江市の魅力を100%体感することはできなかったが、未来を大切にしたい人々の思いや、松江市の伝統を守り続ける姿勢に感銘を受けた。



#### B班

フィールドワークを通して、木質チップを使った再生可能エネルギーについて学ぶことができました。普段再生可能エネルギーを身近に感じることはないですが、発電所を見学し、現状を知ることで、再生可能エネルギーについて深く考えるきっかけになりました。また、質疑応答の時間に、その場で直接回答をいただくことで、さらに疑問が浮かび、より深く考えることができました。



## フィールドワークの感想

#### C班

バイオマス発電を行う現場を実際に生で拝見し、再生可能エネルギーの利用の過程に触れながら利用の現状に関してお話を伺うことで環境との連携には何が良いのか認識を改めることが出来ました。更に、松江城や堀川遊覧船、東出雲おちらと村や八重垣神社への訪問により、歴史・文化・観光といった多様な視点から相乗効果を生む組み合わせに関しての相性や対応の方向性を考えることが出来ました。



#### D班

事前にフィールドワーク先のことについて沢山調べていたにもかかわらず実際フィールドワークに行くと気付くことが多かった。工場の仕組みや発電の過程を見学し、更に自分たちが気になったことについて質問できたことで、松江バイオマス発電についての理解が深まり、新たに見えてきた課題の解決にも取り組んでみたいと思った。



# 出雲エリア

## IZUMO AREA

### トキ分散飼育センター

国の特別天然記念物「トキ」の公開、繁殖を行っている施設。佐渡市から遠く離れた出雲市でトキの分散飼育を行うことで、感染症によるトキの絶滅のリスクを少なくしている。現在、分散飼育センターでは繁殖ペア3組、公開個体4羽の合わせて10羽が飼育されている。今年は令和7年5月13日に初ふ化に成功。また、トキの近似種にえさやり体験も行っている。



### 出雲エネルギーセンター

一般家庭や事務所から持ち込まれるごみを処理する施設であり、焼却による熱エネルギーを活用して発電を行っています。ごみを燃やしてお湯を沸かし、その水蒸気でタービンを回すことで発電する仕組みです。発電量は約5400kWで、これは約6200世帯分に相当します。発電した電力は施設内で必要な電気を供給し、余剰分は売電することで地域のエネルギー循環に貢献しています。



#### フィールドワークスケジュール

| 時間          | 会場             |
|-------------|----------------|
| ～ 9:00      | 島根大学           |
| 9:00～10:00  | 移動             |
| 10:00～10:30 | しまね花の郷         |
| 10:30～10:45 | トキ分散飼育センター     |
| 10:55～11:35 | 朱鷺会館1F会議室      |
| 11:40～11:45 | 移動             |
| 11:45～12:45 | レストランピアムーン(昼食) |
| 12:45～13:00 | 移動             |
| 13:00～14:10 | 出雲エネルギーセンター    |
| 14:10～14:40 | 移動             |
| 14:40～15:30 | キララ多伎          |
| 15:30～16:30 | 移動             |
| 16:30～      | 島根大学           |



出雲市より環境に関わる

## 課題提起

出雲A・B班

### 出雲A班 解決策 提案

提案1は「大学生が子どもたちにトキについて説明する」です。これは、市役所の職員が説明するより、大学生が説明する方が子どもたちがトキについて身近に感じ印象に残り、自分たちにもなにかができることがあるかもしれないと気づき、理解度の向上にもつながると考えたからです。提案2は「新しく生まれるトキの名前を募集する」です。これは、島根県立海洋館アクアスでのイベントを参考にしています。名前を来場者がつけることでその時だけでなく持続的にトキに関わることができ、来場者が主体となって参加することができると思案しました。また、この活動を通して知名度と経済効果の上昇にもつながると考えました。

MISSION:

トキとの共生のための方策について示してください

### 出雲B班 解決策 提案

トキとの共生を目指す上で必要不可欠な、水田を始めとした里山の環境づくりには、住みやすい環境をつくるだけでは終わらず、持続的な維持管理が必要となってくる。水田や畑の維持管理を継続して行うのは農業者が主体となってくるが、現在、出雲市内では農業者の減少や高齢化が進んでおり、市内全域での環境づくりが達成されるには難しいものがある。そこで、中高生を中心に10代から20代の若年層に向けた取り組みとして、トキに関する講演会や農業体験活動の開催、若年層や移住者で新たに市内で農業を始める人やグループに向けた資金援助などを行う。若手の農業者の増加を目指すことは、トキの住みやすい環境づくりに貢献できると考える。

出雲市より環境に関わる

## 課題提起

出雲C・D班

### 出雲C班 解決策 提案

私たちが、与えられた課題は「ごみの減量化のための方策について示す」です。この課題に対する提案は、ごみ袋のデザイン変更と大学内で取り組みを行うことです。ごみ袋のデザインの変更案において、注意の部分の文字に読みづらさを感じたため、重要なところを太字にする、イラスト化して見やすくする、下のイラスト部分を大きくするという案を考えました。また、大学内での取り組みは地域の方でも捨てやすいゴミステーションの設置についても考えました。特に、資源ごみなど燃えるゴミと一緒に捨ててしまうことが多いもの用のステーションを設置すべきだと提案します。他にも、マイボトルの推進を行うなど、身近なごみを減らす取り組みを行うことを提案します。

MISSION:

ごみ減量化の方策について示してください

### 出雲D班 解決策 提案

出雲市のごみ減量課題に対して2つの解決策を提示しました。1つ目は施設の立地を生かしたアスレチックやレジャー施設を処理場内、もしくは付近に作ることでごみ処理場との物理的距離を近くし、ごみに関心を持ちやすい環境を作るというものです。アスレチック、レジャー施設内ではごみ処理場見学を勧め、利用者が施設見学をすることでごみに対する知識、関心を高めてもらうことを目的としています。2つ目はごみに含まれる水分量を減らすことです。そのために、生ごみ処理機購入助成金の補助を行うこと、子供たちにどの方法で水切りをすることが有効か自由研究をしてもらうことで、ごみ捨ての際、水切りの意識を高めることを目的としています。



出雲エネルギーセンターでの活動の様子

## しまねの花の郷

しまね花の郷は、島根県出雲市にある花と緑に囲まれたフラワーパークで、島根の花き産業の振興や自然とのふれあいを目的に設立。園内には、季節ごとに多彩な花が咲く花壇広場、年中花が楽しめるガラス室、芝生広場や水辺などがあり、家族連れや観光客に人気！特に島根県オリジナルのアジサイ「万華鏡」や牡丹など、地域ならではの花々が見どころ！



## A班

しまね花の郷や出雲市トキ分散飼育センター、出雲市エネルギーセンター、キララ多伎といった出雲市内各所を巡り、その場所で自らのからだで感じて学ぶことができました。事前に各所について調査を行い、予備知識を身につけ、質問内容を考えてから挑んだことで、より具体的で深い学びができたように思います。これらのことから、事前準備と当日の自主的な態度の両方が充実してこそ、よりよい学びが得られるのだと強く実感しました。



## B班

私たちは事前学習から植田さんをはじめとした、市役所の方々と何度も質疑応答を繰り返したことでよりトキについての思いが深まりました。実際にフィールドワークでトキ分散飼育センターに行った際、実際の生育環境、エサの種類などを見て飼育員の方や職員さんに再度質問したことによってより深くトキについて知ることができました。この知識、そして今回の提案をもとに1日でも早くトキが出雲市で翔ける日が来ることを願っています。



## フィールドワークの感想

### C班

講義の中では、多くの質問に答えて下さったり、フィールドワークで行う質問の確認や訂正をしてくださりありがとうございました。フィールドワークでは、チームの仲間で役割を決め、補い合うことができ、チームの結束を強めることができました。また、実際に見学することで、質問の答えを得たり、新しい質問が浮かんだりしました。これらを積極的に質問することで、具体的な解決策を考えるためのヒントにつながりました。



### D班

ごみ処理場内を分かりやすく説明していただき、質問にも丁寧に答えていただけたことでごみ問題への理解度が高まり、より一層課題解決に身が入りました。また、課題解決策を考える中で仲間同士での連携体制が強くなり、各々で自分自身の成長を感じられました。このような経験をさせていただきありがとうございました。



# 安来エリア

## YASUGI AREA



### 伯太小水力発電所

安来市伯太町に位置する再生可能エネルギー施設で、1959年4月25日に運転を開始。中国地方で最も小規模な水力発電所であり、地元の伯太川から取水し、横軸フランシス水車と誘導発電機を用いて電力を生み出している。最大出力は95kW、有効落差は21メートル。特徴的なのは、ダムの水ではなく雪解け水や山の貯水を利用し、発電後は水を川に戻す仕組みで、自然環境への負荷を最小限に抑えている。



#### フィールドワークスケジュール

| 時間          | 会場             |
|-------------|----------------|
| ～ 9:00      | 島根大学           |
| 9:00～10:00  | 移動             |
| 10:00～10:50 | 伯太小水力発電所       |
| 10:50～11:00 | 移動             |
| 11:00～12:00 | わかさ会館          |
| 12:00～12:05 | 移動             |
| 12:05～13:00 | まんま工房 さかえ屋(昼食) |
| 13:00～13:15 | 移動             |
| 13:15～14:00 | 安来節演芸館         |
| 14:00～14:05 | 移動             |
| 14:05～16:00 | 足立美術館          |
| 16:00～17:00 | 移動             |
| 17:00～      | 島根大学           |

安来市より環境に関わる

## 課題提起

安来A・B班

### 安来A班 解決策 提案

伯太小水力発電所では降水量の変化によるごみの増加が発電に影響するため、ごみの除去が重要な対策です。活動課題では、降水量の多少に対し発電量を安定させる案を考えればいいと思い、活動前は「ヘッドタンク設置による水資源の供給と貯蓄」を案にしましたが、活動を通し現実的ではないと判断し、最終的な解決策として、異常気象時のごみ対策として日常的な清掃の徹底(ネット交換時の工夫他)、発電を止める明確な基準を設けることが発電量維持に有効だと考えました。今回はこのような案が思いつきましたが、どの案も費用が掛かってしまうものだと理解しています。今後は、低コストでできる対策案を提案できるようにしていきたいです。

**MISSION:** 小水力発電には安定的な水量が必要ですが、気候変動などにより降水量が極端に変化すると(多すぎても、少なすぎても)、発電量が減ってしまいます。発電量を減らさないために、どのような対応策があると思いますか？

### 安来B班 解決策 提案

私達は貯水池や太陽光発電を使用することを提案したい。雨天時にも発電できる小水力発電と晴天が多い渇水期に発電できる太陽光発電に相補的な性格があること、また安来市は太陽光発電施設を増設しようとしていることに着目した。まず大雨のときに一時的に多めに貯水する。次に太陽光発電量が多い晴天時の昼間は水力の発電量を抑えて水を貯めておき、逆に夜間や曇りの日など太陽光発電ができない、あるいは不足する時間帯には水力発電を使う仕組みをつくることで、安定的に発電することができるのではないかと考えた。ただ、太陽光発電は設置時のコストパフォーマンスが他の発電施設と比べて悪い点、ソーラーパネル設置により山の保水機能が低下する可能性がある点など課題点も考察された。

安来市より環境に関わる

## 課題提起

安来C・D班

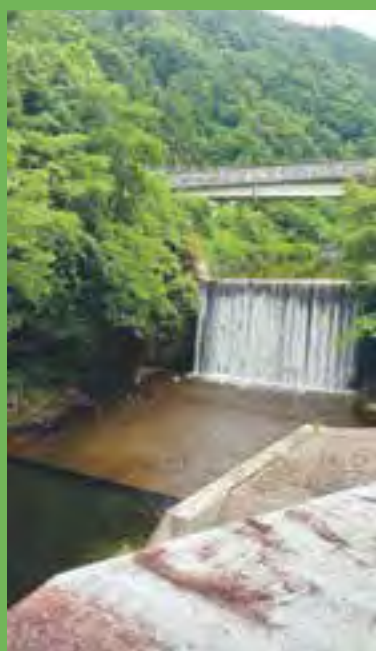
### 安来C班 解決策 提案

再生可能エネルギーを巡るトラブルは、景観破壊や災害リスクの上昇が主な原因です。安来市では事業者からの住民説明会や市役所への相談を実施しており、その中で問題があれば工事を止めるようにしているため、現時点でトラブルや市民からの不安の声などは発生していないようでした。しかし、今後再生可能エネルギー施設の導入を促進するためには、市民の多くが当事者意識を持ち、再生可能エネルギーへの関心を高めるという課題があることが分かりました。そこで私たちは、課題を解決する手段として「マイ発電機コンテスト」を提案します。発電力やデザイン性を競って景品を用意することで、若者の参加と理解促進を図りたいと考えています。

**MISSION:** 再生可能エネルギーをめぐる、災害発生や生活環境悪化の恐れから地域住民とのトラブルが多発していますが、どうしたら未然に防ぎ、または解決できると思いますか？

### 安来D班 解決策 提案

災害発生の対応策は地震と豪雨の2点をまとめる。  
●地震に関しては、耐震構造がクリアされているため崩落の心配はない。また地盤が岩盤になっているため液状化の心配もない。豪雨の間はごみが侵入するため発電所を一旦停止する事になる。その際の停止等の判断は人力では厳しいものがあるという課題がある。我々はこの課題に対し過去の洪水データを収集し、AIによる判断基準や危険水位を設定することで解決できると考える。  
●生活環境に関しては、設備の一部破損によって周辺地域への漏水等の課題がある。対応策としては定期的な点検により力を入れる、具体的にはこちらもAIを活用し点検の基準を設けることにより、解決できると考える。



## わかさ会館

伯太町にある地域交流施設で、研修や講演会、地域活動など多目的に利用されている。館内は、1階にはロビー、小会議室、大集会室（ステージ・音響設備・ピアノあり）、和室の教養室、農産加工実習室（調理設備完備）がある。2階には大会議室や研修資料資料室がある。地域住民の学習や交流の場として、サークル活動や市主催事業にも活用され、公共施設として地域コミュニティの形成に重要な役割を果たしている。



## 安来節演芸館

どじょうすくいで有名な民謡「安来節」を中心に上演。2006年に開館し、木造と鉄筋コンクリートを組み合わせた建物は、大正時代の芝居小屋を模した設計で、公共建築賞優秀賞などを受賞。館内には、敷席や花道があり、寄席の雰囲気を楽しめるのが特徴。公演は土日祝日に定期開催され、唄や踊り、銭太鼓、南京玉すだれなど多彩な演目を鑑賞できる。どじょうすくい踊りの体験も可能で、観光客に人気！



## 足立美術館

横山大観をはじめとする近代日本画や北大路魯山人の陶芸など約2,000点を所蔵。特に5万坪の日本庭園は「庭園もまた一幅の絵画である」という理念で造られ、米国の日本庭園ランキングで連続日本一を獲得。美術と自然の調和を楽しめる施設として国内外から高い評価を受けている。



### A班

今回のフィールドワークで小水力発電について学ぶことで、地域資源を活かした持続可能なエネルギーの取り組みを知ることができました。また、安来の歴史や文化にも触れることで、地域の魅力について深く知ることができました。今回の学びを通して、安来という地域が持つ豊かな自然と文化の魅力を改めて実感しました。また、関係者の皆様にはご多用のところ、私たちのために貴重なお時間を割いてご対応いただき、誠にありがとうございました。私たちの疑問一つひとつに丁寧にお答えいただいたことで、小水力発電の現状やその課題について、より理解を深めることができました。今回の学びは、地域への関心を一層高める大きなきっかけとなりました。改めて、心より感謝申し上げます。



### B班

この度のフィールドワークにあたり、事前の質問回答から当日の活動までご指導いただいた市長会・市役所の皆様にまづもって厚く御礼を申し上げます。実際に現地に行き、小水力発電所を見たことで班全体の課題に対する認識が深まり、現実的な解決方法の考案をすることができました。さらにわかさ会館では、もともと用意していた質問だけでなく実物を見た上で思ったことを質問できたことで、より有効な情報を得ることができ、手応えを感じました。また、安来節演芸館や足立美術館での鑑賞を通して、安来市の文化や伝統芸能などの魅力発見に繋がりました。



## フィールドワークの感想

### C班

今回のフィールドワークでは、実際に伯太小水力発電所を見学し、仕組みや環境への配慮を直接見ることで、理解が深まりました。市の方との意見交換では、自分たちの疑問に丁寧に答えていただき、課題解決の手がかりを得ることができました。また、著名な美術館の見学や安来市の伝統芸能の魅力などにも触れることができ、貴重な体験となりました。



### D班

安来市にフィールドワークに行き、水力発電所を見たことでより課題の解決方法を考えやすくなりました。またフィールドワークに行ったことで安来市の魅力を知ることができました。実際に足を運ぶことで課題の解決方法の見通しを持つことができ、安来市についても知ることができたので良かったです。私たちの質問に答えてくださったり、ご指導いただきありがとうございました。至らなかったことが多かったですが、丁寧に教えてくださり、安来市にある課題や解決方法について理解することができました。



# 米子エリア

## YONAGO AREA

### 米子市クリーンセンター

家庭から出る可燃ごみを効率的に処理するために設置された施設です。ここでは焼却処理によって発生する熱を有効活用し、電力を発電する仕組みを導入しています。発電された電力はセンター内の運営に利用されるだけでなく、公共施設、特に下水処理場などで活用され、地域のエネルギー循環に貢献しています。



### 米子水鳥公園

米子水鳥公園は米子市民の保護運動を受け、1995年に開園。2005年には、中海の一部として国際的に特に水鳥の重要な生息地としてラムサール条約に登録された。公園はコハクチョウの蒨(ねぐら)を保護し、野鳥の生息地を維持することが目的。また、市民が自然と触れ合える場として、観察や学習の機会を提供し、湿地環境を次世代へ継承する役割も担っている。



#### フィールドワークスケジュール

| 時間          | 会場          |
|-------------|-------------|
| ～ 9:00      | 島根大学        |
| 9:00～10:00  | 移動          |
| 10:00～11:30 | 米子市クリーンセンター |
| 11:30～11:50 | 移動          |
| 11:50～13:20 | さんぼう(昼食)    |
| 13:20～13:40 | 移動          |
| 13:40～14:40 | 本池美術館       |
| 14:40～15:00 | 移動          |
| 15:00～16:30 | 米子水鳥公園      |
| 16:30～17:30 | 移動          |
| 17:30～      | 島根大学        |

米子市より環境に関わる

## 課題提起

米子A・B班

### 米子A班 解決策提案

今回「ゴミ袋のデザインを変更すること」と「分別されなかったときに起きる問題について知ってもらう企画を行うこと」を提案する。米子市のゴミ袋は外国人の方からすると分かりにくくなっていると感じた。そのため、入れてよいゴミのイラストを提示することやチェックリストを印刷することで米子市に住んでいるすべての方がわかりやすくなり、分別しやすくなると思った。また、分別されなかったときに起きる問題を知ってもらう企画を行うことで、クリーンセンターで起こっている問題を理解しつつ、外国人同士で会話をすることでゴミ分別に対しての意見交換をすることができ、外国人の方のゴミ分別の意識が変化するのではないかと考えた。

MISSION:

米子市にいる外国人へのごみ分別ルールの周知方法について

### 米子B班 解決策提案

米子市では市内に住む外国人へのごみの分別ルールの周知方法が課題となっていました。そこで私たちは①クリーンセンターでの施設見学会・説明会やごみの分別講座の開催

②1日収集体験などの外国人向けの体験型イベントの開催

③誰もが分別しやすい地産地消商品の開発

④収集時間の変更

この4つの方法を提案します。外国人にとって日本の分別ルールは難解であり、ホームページ等では正確に理解できません。しかし、実際の体験や説明の場を設けることで理解促進に繋がれると考えます。収集時間に関しては制度変更の難しさから、実現には課題が多いと判断しました。したがって、私たちは①～③を優先的にを行うことを提案します。

米子市より環境に関わる

## 課題提起

米子C・D班

### 米子C班 解決策提案

私達は、水鳥公園の活動をSNSで発信し、知名度をあげることを提案する。現在、小学生や高齢者の来館者は多いが、中高生の新規来館者やリピーターは少ないという状況にある。そこで、SNSを活用した中高生向けの広報が非常に有効だと考える。今、水鳥公園を知る方法はブログやFacebookなどだが、若い世代の人達はInstagramやXなどを使う傾向が強いので、どのようなイベントが行われているのかをそれらのSNSでも発信することで、若い人たちの目に留まりやすくなり、興味を持ってもらうきっかけになる。また、SNSを通じて関心を持った中高生が、水鳥公園のクラブ活動などに継続的に関わるようになることも目指したい。

MISSION:

水鳥公園の入館者数を増やすためにどのような広報をしたらよいか？

### 米子D班 解決策提案

私たちは体験型学習を増やす広報や展示、SNSを使った新たな広報の2つを提案する。1点目ではSNSで人気のバードウォッチングのアカウントを参考にし、2点目では生活科や理科と絡めた展示を行うというものだ。今までの水鳥公園の広報は小中学生が対象であり、それ以外の世代はアプローチが難しかった。しかしSNSを使う事で新たな世代を取り込むことができる。また、生活科や理科と絡めた展示は小学生や中学生に効果的なアプローチを可能にできるのではないかと考える。これら2つの提案はそれぞれ、広報の良い点をより良くするもの、限界があった部分に新たな方法を提案するもので、これらの2つが相補的に補うことで今回の提案をよいものに行っている。



## 本池美術館

世界初のレザーアート専門美術館で、2021年に創作活動50年を記念して開館しました。世界で唯一無二の革人形師・本池秀夫氏が手掛ける革細工作品を展示し、等身大の動物や精巧な人形など約100点を鑑賞できます。革という素材に命を吹き込む独自の技法で、廃材に新たな価値を与える芸術性が特徴です。館内にはミュージアムショップや喫茶も併設され、レザーアートの世界を存分に楽しめます。

# SPOT

## A班

フィールドワークでは米子市クリーンセンターへ行き、可燃ごみ以外の分別されていないごみがたくさんあり、特にリチウムイオン電池が分別されていない場合は火災が発生し、半年ほど稼働しない可能性があることを知った。また、クリーンセンターでは市民の意見を重要視して稼働していることが分かった。しかし、ごみ分別に関して外国人の方だけでなく日本人の方にも向けてのイベントなどを行う必要があり、そうすることで米子市民のごみ分別への意識が変化すると考えた。



## B班

今回のフィールドワークを通して、地域で起こっている課題を自分事として真剣に考え、学生の視点で精一杯提案を考えてきました。ご指導いただいた皆様には、質問への返答、現地でのご説明など、私たちの活動のためにお力添えいただき、ありがとうございました。今回得た学びを活かし、これから地域に関わっていく中で出会う課題に対して向き合い、地域に貢献できるよう尽力して参ります。



## フィールドワークの感想

## C班

水鳥について詳しくない方にも職員さんが丁寧に説明してくださるので、誰でも楽しめるということがわかりました。また、様々なイベントを行っておられたり、水鳥以外の生き物についてのイベントもあったりと、様々な自然と触れ合える場所だということがわかりました。職員さんの生き物に対する愛情も伝わってきました。



## D班

活動へのご協力・ご支援、誠にありがとうございました。実地見学を通して理解が深まり、大変有意義な時間となりました。米子水鳥公園の魅力や公園設立以前からの水鳥のための湿地維持への取り組みについて実際に見て、体験させてもらい知ることができました。私たちに大学生に対して公園としての想いや魅力について教えてくださいありがとうございます。また、市長会・市役所の方々は、当日の活動サポート以外にも事前の質疑応答の場での回答をしてくださりありがとうございました。これらのサポートがあったからこそフィールドワークが遂行できたと思います。ここで得た経験をもとに今後の活動に活かしていきます。

# 境港エリア

## SAKAIMINATO AREA

### 境港市清掃センター

市内の不用品やごみを回収・中継・保管する施設で、年間約3.3万トンの処理能力を持っている。生ごみ分別リサイクルグループや鳥取フードドライブなどを通じて、リサイクルや再利用を積極的に推進し、資源循環型社会の実現に貢献している。環境保全と地域協働を重視した取り組みが特徴。



境港市清掃センター

### 三光(株)潮見コンビナート

処理が難しい特別管理産業廃棄物を含む多様な産業廃棄物や一般廃棄物を焼却処理する施設。地球環境保護を目的に、廃棄物の適正処理とリサイクル事業を推進し、資源循環型社会の実現に貢献。安全性と環境負荷低減を重視した運営が特徴で、地域の持続可能な廃棄物処理に重要な役割を果たしている。



#### フィールドワークスケジュール

| 時間          | 会場            |
|-------------|---------------|
| ～ 9:00      | 島根大学          |
| 9:00～10:00  | 移動            |
| 10:00～12:00 | 三光(株)潮見コンビナート |
| 12:00～12:15 | 移動            |
| 12:15～13:15 | 大漁市場なかうら(昼食)  |
| 13:15～13:30 | 移動            |
| 13:30～14:00 | 弓ヶ浜海岸         |
| 14:00～14:15 | 移動            |
| 14:15～15:15 | 境港市清掃センター     |
| 15:15～15:25 | 移動            |
| 15:25～16:15 | 水木しげるロード      |
| 16:15～17:15 | 移動            |
| 17:15～      | 島根大学          |

境港市より環境に関わる

### 課題提起

境港A・B班

#### 境港A班 解決策 提案

私達は、生ごみを出す前に水分を切ることの重要性を広めるため「境港市エコ活大作戦」を考えています。広報手段は、①境港市のゴミ分別収集カレンダーをアレンジする②ゴミ分別を促進させるアプリ「さんあ〜る」の利用率を上げる③高齢者向けに生ごみの現状、水分を切ることを呼びかけた動画を作成しCMで放映したり病院やスーパーなどでポスターを掲示したりする④三光(株)潮見コンビナート様が作成されたゴミ分別を学べるババ抜きで正しいゴミの情報を知っていただくの4つです。また、ダンボールコンポストを各家庭に配布し、ポイントを貯めながら市民の皆さん自らが生ごみを堆肥化する「ダンボールコンポストキャンペーン」も考えています。

MISSION:

生ごみを削減するためにできること

#### 境港B班 解決策 提案

私たちは、「さかいみなとたすけ愛生ごみお祓いプロジェクト」を提案しました。これは、境港市の住民の方に、生ごみ削減をより意欲的に取り組んでもらうためのプロジェクトです。住民の方に生ごみ削減に向けて協力したいと思ってもらうためには、どのようなプロジェクトが良いのか、住民の視点でプロジェクトを考えました。このプロジェクトは、生ごみの堆肥化に協力すると境港産の魚介類や野菜を購入する時に利用できるクーポン券が贈呈されるというものです。そうすることで、購入→調理→生ごみの堆肥化というサイクルを継続させることができるはずです。また、この方法は生ごみの削減のみならず境港市の地産地消を促進することができます。

境港市より環境に関わる

### 課題提起

境港C・D班

#### 境港C班 解決策 提案

今回私たちは、草を刈ってある場所と刈っていない場所でポイ捨ての量に違いがあることに着目し、草刈りを推進させ、ポイ捨てを減らそうと考えました。そこで考えついた2つの提案をさせていただきました。まず1つ目は、境港市の現状として、草刈りを推進させるために2つの取り組みがありますが、私たちはそこに問題点があると考え、その問題点を改善し全ての人が活用しやすいようにすることです。2つ目は、草刈り促進の制度をポスターやCM、SNS、イベントなどを活用して市民の方々に知ってもらう取り組みを行うことです。これらの取り組みを行うことで草刈りが推進されることにつながり、ポイ捨ての減少に影響をもたらすと考えました。

MISSION:

ごみのポイ捨て、不法投棄をなくすためにできること

#### 境港D班 解決策 提案

提案1: 海浜清掃ボランティア活動の広め方  
毎年300人程度の参加が見込める。登録者および登録団体の増加は見込めない。  
そこで「スポGOMI!ワールドカップ」を参考に企画を行うことを提案する。  
①参加団体・個人に対し事前登録を促す  
②集めたゴミの総量に応じてポイント付け  
③上位参加者に賞品を贈呈  
提案2: 回収した海洋プラを環境問題の教育に活用するために海洋プラ→マリンクリスタルにする。  
①小中学生を対象とした夏休み自由工作の題材として扱う工作展を行い作った作品を展示する。例えば地域の方が自由に観覧できるスペースを確保し優秀な作品には賞状や景品を贈呈。  
②環境問題での講演に活用する。



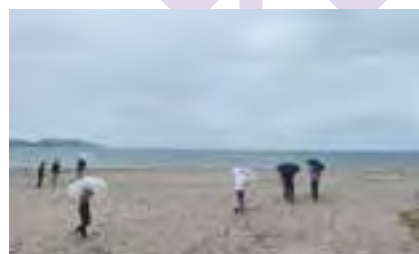
三光(株)にて  
産廃カードゲーム



三光(株)にて

## 弓ヶ浜海岸

日本海に面した約20kmの美しい砂浜で、鳥取県に広がる弓ヶ浜半島の自然豊かな海岸です。白砂青松の景観が特徴で、古くから「日本の渚百選」に選ばれています。夏は海水浴やマリンスポーツ、春や秋には散策や釣りを楽しむ人々で賑わいます。背後には大山がそびえ、海と山のコントラストが絶景を生み出します。また、周辺には温泉地や新鮮な海の幸を味わえる飲食店も多く、観光やレジャーに最適なスポットです。



©水木プロ

## 水木しげるロード

人気漫画『ゲゲゲの鬼太郎』の作者・水木しげる氏の故郷にある観光スポットで、妖怪の世界を体感できる約800メートルの通りです。沿道には鬼太郎やねずみ男など、約180体の妖怪ブロンズ像が並び、訪れる人々を楽しませています。夜にはライトアップされ、幻想的な雰囲気に包まれます。周辺には水木しげる記念館やグッズショップ、妖怪をテーマにしたカフェもあり、ファンはもちろん家族連れにも人気です。JR境港駅からアクセスも良く、境港市の文化と観光を象徴するスポットとして国内外から多くの観光客が訪れています。

# SPOT

## フィールドワークの感想

### A班

ゴミ処理場を見学し、普段見えないゴミの処理の流れを見ることができました。また、不法投棄の現状にも触れ、身の回りのゴミへの関心が高まりました。環境に配慮した行動を心がけていきたいと強く感じました。



©水木プロ

### C班

今回の見学では、三光(株)潮見コンビナートと境港市清掃センターの2つの施設を訪れ、地域におけるゴミの処理やリサイクル、不法投棄の現状について学びました。説明を聞いたり質問をしていく中で、グループ内で意見交換をし、理解を深めていくことができました。

### B班

実際に足を運んで現場を見学させていただいた他、ゲーム形式で体験型の学びを通して、貴重な経験をさせていただきました。フィールドワークに行くまでの間は、現状を目で確かめられない私たちに貴重な現場の声を直接届けていただいたおかげで、課題解決のための手掛かりを得ることができ、大変助かりました。



### D班

私たちの2つの提案は小中学生から大人まで多くの人が対象となっており、境港市に住む人たちの環境への意識を変化させると同時に地域の活性化にもつながるようなものであると考えております。これまで行われていた活動に加え、新たな取り組みを通して多くの人が活動へ参加していただくことで、環境問題について考える人が増え、将来的に海ゴミがなくなることを私たちは願っております。

# 地域人材育成コース案内

INFORMATION



地域人材育成  
コースの  
詳細はこちら

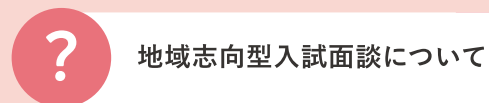
## 地域志向型入試について

本コースは地域志向の強い学生を受け入れる学部横断的なコースで、各学部にも所属しながら地域関連科目を系統的に学びます。このコースに入るためには、各学部にも用意されている「地域志向型入試」を受験する必要があります。各学部で地域志向型入試は呼び名が異なります。

「地域をもっと元気にしたい」

「島根大学で地域をささえる力をつけたい」

そんなあなたの想いや夢を、聞かせてください。WEBによる「地域志向型入試面談」を行います。対象は、全国の高校生です。



「面接」ではありません。  
「面談」です。



詳しくはこちら

## 地域志向型入試概要 (令和8年度入試)

地域について強い興味・関心をもち、地域に関して学び、卒業後は島根県・鳥取県あるいは出身の地域に貢献したいと希望する学生を求める「地域志向型入試」を全学部で実施します。

この入試で入学した学生は、実際に所属する学部の専門教育を受けるとともに、「地域人材育成コース」にも学部横断的に所属し、地域関連科目を系統的に学ぶことで、地域の現状と課題を知り、学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得していきます。

なお、医学部については、他学部と出願要件が異なります。詳細については、全学部とも「学生募集要項」で必ずご確認ください。

| 学部        | 入試種別                                  | 募集人員               |     | 大学入学<br>共通テスト | 個別試験                                                             |
|-----------|---------------------------------------|--------------------|-----|---------------|------------------------------------------------------------------|
|           |                                       | 島根県<br>または<br>鳥取県枠 | 全国枠 |               |                                                                  |
| 法文学部      | 総合型選抜Ⅰ<br>(へるん入試)<br>へるん特定型<br>地域志向入試 | 6                  | 6   | —             | 書類審査<br>読解・表現力試験<br>面接<br>(地域志向レポート<br>に基づく「地域志向<br>面接」含む)<br>※4 |
| 教育学部      |                                       | 14<br>※3           | —   |               |                                                                  |
| 人間科学部     |                                       | 8                  | —   |               |                                                                  |
| 総合理工学部    |                                       | 14                 | 4   |               |                                                                  |
| 材料エネルギー学部 |                                       | 8                  | —   |               |                                                                  |
| 生物資源科学部   |                                       | 9                  | 3   |               |                                                                  |
| 医学部       | 一般選抜前期日程<br>(県内定着枠)<br>※1             | 3                  |     | ○             | 数学・英語<br>面接                                                      |
|           | 地域枠<br>学校推薦型選抜<br>※2                  | 10                 | —   | ○             | 小論文<br>面接                                                        |
|           | 緊急医師確保対策枠<br>学校推薦型選抜<br>※1            | 5                  | 4   | ○             | 小論文<br>面接                                                        |
|           | 学校推薦型選抜Ⅱ<br>(地域枠)<br>※2               | 5                  | —   | ○             | 小論文<br>面接                                                        |

※1 募集人員を含めた内容については文部科学省と今後協議を行いますので、変更になる場合があります。  
※2 島根県内の指定地域出身であることを出願要件としています。詳細は「学生募集要項」をご確認ください。  
※3 地域教育員育成型(島根県枠)7名、地域教育員育成型(鳥取県枠)7名の合計14名です。  
※4 教育学部は「教職への学びレポート」を課します。

## 地域人材育成コースの特徴

### ① 抜群のサポート体制とプロジェクトへの参加が可能!

#### Support 1

学部の兼任教員による  
面談年2回サポート

#### Support 2

キャリアの専門家による  
進路のキャリアサポート

#### Support 3

島根・鳥取の  
個別職場見学や職場体験

#### Support 4

全員1年生から  
地域とのプロジェクトに参加

#### Support 5

プロジェクト終了後、  
早期の自己PR確立で  
早期のインターンシップ選考有利!

#### Support 6

学年・学部・学科を超えた  
縦割り班の先輩からのサポート

### ② 地域人材育成コース生としての意識の高さと活躍!

#### I 「志」を持つ。

「志」を「信念」に変え、「信念」を「自信」として  
日々の生活に取り組めるようにする。

#### II 「社会的開拓者」として新しい社会の 在り方を切り拓く覚悟を持つ。

コース生(仲間)の一人ひとりが創意工夫の能力を発揮し  
合えるようにする。

### ③ コース生専用プロジェクトに所属!

通称“コープロ”と呼ばれており、1年次から地域プロジェクトに所属します。

#### 2025年コース生専用プロジェクト=コープロ

- 玉造温泉×葉草・湯治プロジェクト
- 『全世代の「つながるんだ」を「面白いんだ」に変えるプロジェクト』III
- 会社キャラクター育成プロジェクト
- 島根スサノオマジック学生応援プロジェクト
- コワーキングスペース「enun」プロジェクト
- 算数・数学パワーアップ教室
- やさしい魅力化プロジェクト
- しましん「地域密着×未来デザインプロジェクト×  
～金融×地域を動かす“つながり”体験～」
- 滞在型交流施設「うみのいえ」を中心とした  
地域と若者の交流促進プロジェクト
- まつえ土曜夜市「謎解きクエスト」企画運営プロジェクト&  
白濁エリアSNS発信プロジェクト
- ワークルールを学べるカードゲームを創ろう!
- 地域を盛り上げよう! 広瀬町×サンパナ変人類学プロジェクト
- 会社は社員のためにある! 「家族の企業参観日」の企画・運営プロジェクト
- 応援席をうめつくせ! 〜ディオッサ出雲FC応援プロジェクト〜
- 大森の湯再生プロジェクト



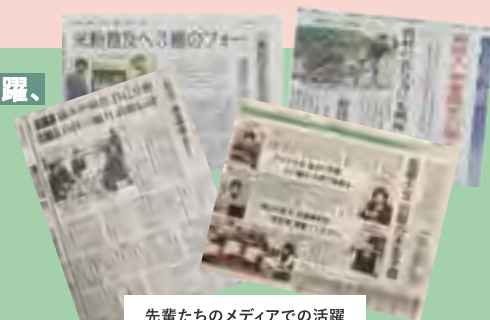
詳しくはこちら

Pick up!

地方・地域を拠点とする  
プレーヤー(社会的開拓者)として活躍、  
コース生同士の交流ができます!



人気!コース生のためのコース生による集い  
「コース生♡友の会♡」

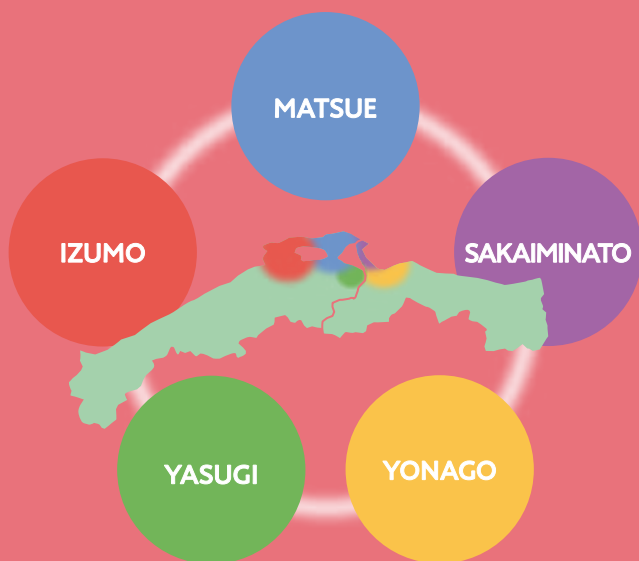


先輩たちのメディアでの活躍

地域志向型入試の  
詳細はこちら



この地の課題に、  
この地でチャレンジする。  
そのための力を蓄える。



人材育成・キャリアデザイン部門

TEL:0852-32-9814

FAX:0852-32-9816

E-mail:lsarc@riko.shimane-u.ac.jp



詳しくはこちら